

**2025年度「あいちデジタルヘルスプロジェクト」  
推進事業委託業務仕様書（案）**

**【目次】**

**1. 業務名**

**2. 業務目的**

**3. 業務機関**

**4. 業務内容**

- **A.「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の事業全体管理・プロジェクトマネジメント**
  - (1) 「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の事業全体管理
  - (2) 「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の基本計画実現に向けた戦略検討
- **B.新サービスの創出・提供促進**
  - (1) 「デジタルヘルス社会実装先行事業」のプロジェクトマネジメント
  - (2) 「共創促進事業」新テーマ創出事業の実施
  - (3) 新たなプロジェクト組成の促進
- **C.社会実装・共創基盤整備事業**
  - (1) ポータルサイト・データ連携基盤の運用開始に向けた企画・調整支援
- **D. コンソーシアム運営**
  - (1) 総会の開催
  - (2) 幹事会の開催
  - (3) 分科会の開催
  - (4) 有識者会議の開催
  - (5) STATION Ai へのコンソーシアム事務局の設置
  - (6) 各種イベントの開催
  - (7) その他コンソーシアム運営に関する留意事項

**5 成果物**

**6 その他・留意事項**

## **1 業務名**

2025 年度「あいちデジタルヘルスプロジェクト」推進事業委託業務

## **2 業務目的**

愛知県は 2020 年 12 月に認知症施策の推進を目的とした「あいちオレンジタウン構想第 2 期アクションプラン」を策定し、国立長寿医療研究センターを中核とした産学官連携による共同研究や、認知症対策に係るスタートアップ等と研究機関の連携支援を実施してきた。

また、2022 年 12 月には、愛知発のイノベーションを絶え間なく創出していくため「革新事業創造戦略」を策定し、重点分野の 1 つに健康長寿分野を位置づけ、社会課題解決と地域活性化を図るプロジェクト創出を推進している。

こうした中、新たな取組として、デジタル技術等を活用して、県民の健康寿命延伸と生活の質（QOL）向上に貢献する各種サービス・ソリューションの創出を目指す「あいちデジタルヘルスプロジェクト」を立ち上げることとし、推進母体として 2023 年 9 月に「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」を設立した。また、2024 年 3 月には、プロジェクトの全体像を示す基本計画を公表した。

本業務では、「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の基本計画で示した事業を着実に推進するとともに、プロジェクトの成功に必要な土台作りを行うことを目的とする。

## **3 業務期間**

2025 年 4 月 1 日（火）（予定）から 2026 年 3 月 31 日（火）まで

## **4 業務内容**

### **A.「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の事業全体管理・プロジェクトマネジメント**

本業務は、「あいちデジタルヘルスコンソーシアム（以下、コンソーシアム）」を推進母体として、「デジタルヘルス社会実装先行事業（以下、先行事業）」及び「デジタルヘルス共創促進事業（以下、共創促進事業）」、「デジタルヘルス社会実装・共創基盤整備事業（以下、基盤整備事業）」を一体的に実施し、超高齢社会の課題解決とヘルスケア産業の振興の両立を目的とする事業であり、目的達成に向けて、「あいちデジタルヘルスプロジェクト」事業全体の企画及び進捗管理等を行う。

#### **（1）「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の事業全体管理**

- ・ 「あいちデジタルヘルスプロジェクト」で実施する各種事業の進捗状況や課題を的確に把握し、必要な取組の提案や、課題の解決策に関する検討を行うなど、本プロジェクトの目的達成に向けた取組が推進できるよう、主体的にマネジメントを行うこと。
- ・ 1 週間に 1 回程度、本プロジェクトの進捗状況や課題をとりまとめ、愛知県との意見交換を実施する機会を設けること。

- ・ コンソーシアム内で意見交換を行うべき課題等については、適宜コンソーシアムに設置する幹事会等を活用し、会員との意見交換と合意形成を図ること。

## **(2) 「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の基本計画実現に向けた戦略検討**

- ・ 基本計画で掲げた目指すべき姿の実現に向け、愛知県及びコンソーシアムとしてどのような取組を実施すべきか検討すること。
- ・ 特に、推進母体であるコンソーシアムについて、将来的な運営方針や、会員制度のあり方、会費徴収などについて検討し、ロードマップを取りまとめ、コンソーシアム内の合意形成を目指すこと。

## **B.新サービスの創出・提供促進**

デジタル技術を活用した産学官連携による「健康寿命の延伸」と「生活の質（QOL）の維持・向上」に貢献する各種サービスの創出・提供を目指し、各プロジェクトの伴走支援や、新たなプロジェクト創出に向けた取組を実施すること。

## **(1) 「あいちデジタルヘルスプロジェクト社会実装先行事業」のプロジェクトマネジメント**

- ・ 愛知県が別に発注する「2025 年度あいちデジタルヘルスプロジェクト社会実装先行事業」について、実施主体との連携体制を構築すること
- ・ 1か月に1回程度、各プロジェクトの進捗状況を取りまとめ愛知県へ報告すること。また、社会実装に向けた取組が円滑に進むよう、進捗状況に応じて必要な指導・助言を行うこと。

## **(2) 「共創促進事業」新テーマ創出事業の実施**

### **① 事業の公募、採択及び契約締結**

- ・ 実証事業に取り組む実施主体の公募（企画競争）を行うこと。（5月上旬を想定、公募にかかる公募要領等の作成を含む。）
- ・ 公募要領を作成する際には、基本計画の実現に向けどのようなプロジェクトを採択すべきか検討し、募集要件や評価基準を工夫すること。
- ・ 採択件数としては3件を想定しており、1件あたり1,000万円を上限に、採択事業者に対し実証事業の実施に係る経費を支払うこと。（採択案件については、有識者会議により最終決定することを想定。）
- ・ 採択案件の決定後、実施主体から提出された企画提案書に基づき、実証事業が円滑に開始できるよう、適切な指導・助言を行うこと。また、実施主体との契約を締結し、遅くとも7月には実施主体が実証準備に着手できるようにすること。

### **② 採択事業のプロジェクトマネジメント**

- ・ 実証事業の実施期間中においては、実施主体との連絡体制を構築すること。

- ・ 1か月に1回程度、各プロジェクトの進捗状況を取りまとめ愛知県へ報告すること。また、社会実装に向けた取組が円滑に進むよう、進捗状況に応じて必要な指導・助言を行うこと。

### ③ 報告書の作成

- ・ 実証事業の社会実装・横展開を促進するため、実証の成果等を報告書としてとりまとめること。
- ・ また、各事業について社会実装への課題や論点があれば、それを整理し、社会実装に向けて工夫すべき点等を提案すること。

## (3) 新たなプロジェクト組成の促進

- ・ 2026年度以降も、「(2)「共創促進事業」新テーマ創出事業の実施」を継続的に実施していくことを想定し、実施主体となりうる企業、研究機関、市町村等の発掘や、意見交換、マッチング等を行い、3件以上のプロジェクト組成を目指すこと。
- ・ プロジェクト組成にあたっては、基本計画の実現に向け必要なプロジェクトを見極めること。(必要に応じて、コンソーシアム内での議論を実施し、コンソーシアムでの合意形成を図ること)
- ・ プロジェクトの実証に係る財源については、本事業だけでなく、愛知県や国の他の補助金・委託事業など、適切な財源を検討し、助言を行うこと。

## C.社会実装・共創基盤整備事業の推進

### (1) ポータルサイト・データ連携基盤の運用開始に向けた企画・調整支援

- 開発要件定義等、ベンダー及び愛知県間の業務調整に対するアドバイザー支援を行うこと。
- ポータル・データ連携基盤に関連する分科会の運営支援を行うこと。具体的な業務は以下を想定しており、必要な論点の洗い出しや事務局案の提示等を行うこと。
  - ポータルサイトやデータ連携基盤を活用したプロジェクト推進に向けたあるべき姿の検討
  - ポータルサイトやデータ連携基盤の各種機能（問い合わせ、記事配信、アンケート）の運用検討
  - あるべき姿に基づいた、各サービスのポータルサイト・データ連携基盤のユースケース検討
  - 展開・プロモーション方法等の検討

## D.コンソーシアム運営

### (1) 総会の開催

- ・ 2025年6月11日に開催される、コンソーシアムの総会開催に係る業務を支援すること。なお、開催に係る各種費用（会場費・スタッフ手配費用など）についても負担すること。

(想定費用)

- ・会場費（STATION Ai イベントスペース） 220,000円（全日の場合）
- ・音響スタッフ手配費用 100,000円程度

- ・ 総会の開催にあたっては、コンソーシアム規約第 13 条に規定する総会の決議に必要な書類を含め、会員に諮るべき資料を検討し作成すること。

## (2) 幹事会の開催

- ・ コンソーシアムの幹事団体<sup>※</sup>及び、愛知県、国立長寿医療研究センターが参加する幹事会について、月に 1 回程度開催すること。（オンライン開催を中心としつつも、必要に応じて現地開催も検討すること。）
- ・ 幹事会においては、プロジェクト全体の進捗報告や、プロジェクト全体の企画・調整に関する議論を実施することを想定しており、議題設定を含めて検討すること。（特に、A（2）「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の基本計画実現に向けた戦略検討については、幹事会での議論を通じて合意形成を図ることを想定している。）

※スギ薬局、ソフトバンク、東京海上日動火災保険、中部電力、名古屋鉄道、八神製作所（6 月に開催される総会にて、幹事が変更となる可能性あり）

## (3) 分科会の開催

- ・ 「B.新サービスの創出・提供促進」及び「C.社会実装・共創基盤整備事業の推進」について、適宜コンソーシアム会員との意見交換を行うため、分科会を開催すること。（オンライン開催を中心としつつも、必要に応じて現地開催も検討すること。）
- ・ 分科会の開催にあたっては、各会議体のリーダーとの意見交換を実施したうえで開催すること。
- ・ 現在は、以下の会議体を想定しているが、必要に応じて会議体の目的や参加者、回数を調整し実施すること。

会議体	目的	主な参加者	開催頻度・方法
共創促進分科会	・コンソーシアム会員間の交流や共創事業の公募促進	・コンソーシアム会員全般 ・県内市町村職員	年 5～6 回 ※（6）のイベントとして開催することを想定
プロジェクト推進分科会	・先行事業、共創事業（新テーマ創出事業）の受託事業者の情報共有 ・コンソーシアムとして創出を目指すサービスの在り方や提供の仕方を検討	・先行事業、共創事業（新テーマ創出事業）の受託事業者	月 1 回程度
ポータルサイト・データ連携基盤分科会	・ポータルサイト/データ連携基盤の運用開始に向けた意見交換 ・サービスとしてのポータルサイト/データ連携基盤の方向性の検討	・先行事業、共創事業（新テーマ創出事業）の受託事業者 ・「社会実装・共創基盤整備事業委託業務」の受託事業者	月 1 回程度 （分科会の他、少人数での議論を定期的実施することを想定）

#### (4) 有識者会議の開催

- ・ 有識者会議について、年2～3回開催すること。有識者については、愛知県との協議のうえ決定することとし、県の基準<sup>※</sup>を参考に、有識者への謝金を支払うこと。（7, 8名程度を想定）  
（想定する議題及び開催時期）

	想定時期	主な目的
第1回	6月下旬	・2025年度の事業計画の共有 ・共創促進事業（新テーマ創出事業）の採択案件に関する議論
第2回	9月～10月	・先行事業に関する進捗評価
第3回	2月～3月	・事業成果の評価

- ・ 本プロジェクトに相応しく、提案者側で調整可能な有識者がいる場合には提案すること。（なお、有識者との調整は愛知県との協議のうえ決定するものであるため、提案時の調整は不要。）  
※ 1人あたり18,000円/回を想定（合わせて往復の旅費の実費相当額を支給すること）
- ・ 有識者と連携し、社会実装先行事業に関する中間評価及び事業成果の評価を行い、2026年度以降の事業計画について助言を行うこと。

#### (5) STATION Ai へのコンソーシアム事務局の設置

- ・ STATION Ai 事務局においては、適宜、コンソーシアムの会員や STATION Ai の入居者からの相談（主に新たなサービス検討や、サービスのビジネス化に関する相談を想定）に対応できる体制を整えること。ただし、必ずしも常駐は必要としない。（活動に必要なIDについては別途愛知県で用意するため不要）
- ・ コンソーシアムにおける STATION Ai の効果的な利活用策を検討し、実証的に実施すること。（STATION Ai 入居者向けのオフィスアワーの開催などを想定）

#### (6) 各種イベントの開催

- ・ コンソーシアムの会員同士の交流や、新たな団体の巻き込み、新たなサービス創出の促進等を目的とした各種イベントの開催を支援（イベント内容の企画や資料作成など）すること。（なお、開催に係る各種費用（会場費・スタッフ手配費用など）について負担すること。）

(想定するイベント)

イベント名	開催時期	目的	想定参加者
定例会	5月	・新任者向けのプロジェクト説明会	コンソーシアム会員及び 関心のある市町村職員
	8月	・共創促進事業（新テーマ創出事業）で採 択した事業の共有会	
勉強会	10月 及び1月	・コンソーシアムの主体者（企業、市町村、 大学・研究機関）のいずれかにターゲットを当 てた勉強会の開催	
成果報告会	3月	・先行事業/共創事業（新テーマ創出事 業）の成果報告	

(想定する会場と費用)

場所	費用
STATION Ai イベントスペース	会場費 220,000 円（全日の場合） 音響オペレーター手配費 100,000 円程度
STATION Ai 大会議室	会場費 110,000 円（全日の場合）

**(7) その他コンソーシアム運営に関する留意事項**

- ・ 本業務期間においては会員間のコミュニケーションを積極的にサポートし、会員の共創機会創出を念頭に業務に取り組むこと。
- ・ 基本計画の目的達成のために、コンソーシアムとして取り組むべき事項や、提供すべき機能がある場合には、積極的に検討し、実証的に実施すること。

**5 成果物**

**(1) 報告書等の提出**

本委託業務において実施した各種調査業務及び作成資料について、報告書等のふさわしい形式で提出すること。

**(2) 納品方法**

各種報告書等については、各種 A 4 判縦又は横書き（作図等は適宜使用し、A 3 判の折込可）5 部と、その内容のデータを提出すること。また、制作物については、その内容のデータを指定した形式で提出すること。

**(3) その他**

提出された成果物の一切の著作権は、委託者である県に帰属するものとする。なお、県から経過報告を求められた時は、資料等の提出に対応すること。

## 6 その他・留意事項

### (1) 愛知県その他施策との連携

「革新事業創造戦略」や「Aichi-Startup 戦略」など、本事業に関連する愛知県その他施策の内容を踏まえた上で業務を実施すること。

### (2) プロジェクト全体のマネジメント実施

本委託業務における各事業は相互に密接に関係するため、業務の一体的な検討に向けた体制の構築を図るとともに、担当者間の連携・調整を密にすること。

### (3) 専門人材の配置

本事業は、ヘルスケア分野やデジタル技術分野（データ連携基盤など）への専門的な知見を要することから、専門的な知識を有する人材の配置や連携体制を構築すること。また、産学官連携事業であり多くの機関との意見交換・合意形成が必要であることから、ステークホルダーとの調整能力の高い人材を配置すること。

### (4) 内容順守・県との協議

業務内容については、本仕様書及び企画提案書の内容を順守することとし、業務実施にあたっては、県と十分協議すること。

### (5) 担当者の設置

委託業務の開始から終了までの間、調査内容全般を常に把握している統括責任者を置き、業務実施方法や進捗状況の確認等、調査の円滑な実施のために、定期的に県と連絡調整を行うこと。

### (6) 情報管理

本業務の受託者は、調査の遂行に当たっては県、企業、個人等の情報漏洩等がないよう情報管理、機密保持に万全を期すること。

### (7) 一括再委託の禁止

委託業務の全部及び主要部分を一括して第三者に再委託しないこと。事業の一部を再委託する場合は、再委託する業務の内容及び必要性等を十分勘案し、事前に協議すること。

### (8) 業務期間中の費用負担及び契約金額の支払い

本業務を遂行するに当たって発生する費用は受託者の負担とし、その業務の対価として受託者に支払う契約代金は業務完了後、受託者の請求に基づき県が支払うものとする。

「B.新サービスの創出・提供促進（2）「共創促進事業」新テーマ創出事業の実施」について、実証事業の実施に係る経費が1,000万円を下回る場合には、その差額を減額することとする。

### (9) 業務完了後の会計帳簿及び証拠書類の取り扱い

受託者は業務完了後5年間、本業務に係る会計帳簿及び証拠書類を県あるいは会計検査院の求めに応じていつでも閲覧に供することができるように保有しなければならない。

## (10) 新しい地方経済・生活環境創生交付金への対応

本事業は新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用して実施するものであり、以下の点に留意すること。

- ・新しい地方経済・生活環境創生交付金交付要綱などの関係規程を踏まえ、業務遂行・経理事務にあたること。
- ・本委託業務に係る会計実地検査等が行われる場合は協力すること。

## (11) 新型コロナウイルス感染症等への対応

新型コロナウイルス感染症等、本業務の実施に影響する予測しがたい事案が発生し、仕様書に記載された事業の一部が実施できなくなった場合は県と受託者協議のうえ、契約金額を含めて契約変更を行うことができる。

## (12) その他

本業務の実施にあたり、県から別途指示があった場合は、可能な限り対応すること。なお、この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて県と受託者が協議して決めるものとする。

### <2025 年度の想定スケジュール>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンソーシアム運営			・ 定例会	・ 総会 ・ 有識者会議		・ 定例会		・ 有識者会議 ・ 勉強会			・ 勉強会		・ 有識者会議 ・ 成果報告
		幹事会及び各種分科会の開催											
		STATION Ai事務局の運営											
新サービスの創出・提供	先行	社会実装先行事業のプロジェクトマネジメント											
		各事業の中間評価						各事業の最終評価					
	共創	公募準備	募集期間	審査期間	・ 採択決定	新サービス創出事業のプロジェクトマネジメント						報告書作成	
		新たなプロジェクト組成の促進											
社会実装・共創基盤構築事業	調達期間	ベンダーと愛知県間の調整に対するアドバイザー											
		コンソーシアム内でのポータルサイト・データ連携基盤の検討に対する支援（分科会運営など）											